

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エスケーアイ
コード番号 9446 URL <http://www.ski-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 昌也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関・アナリスト・報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	8,110	2.6	388	△41.5	411	△40.4	151	△59.2
22年9月期第2四半期	7,905	9.5	664	139.6	689	122.9	370	238.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	13.92	—
22年9月期第2四半期	17,067.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	7,402	2,446	32.4	220.76
22年9月期	6,610	2,347	35.0	212.93

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 2,396百万円 22年9月期 2,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,170	△1.3	606	△37.6	626	△36.1	233	△49.0	21.46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】2ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 10,856,500株 22年9月期 10,856,500株

② 期末自己株式数 23年9月期2Q 72株 22年9月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 10,856,444株 22年9月期2Q 21,713株

(注)当社は平成22年6月1日をもって株式1株を500株に分割いたしました。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当社は平成22年6月1日をもって株式1株を500株に分割いたしました。「1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績」における平成22年9月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は、分割前の株式数をもとに算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

まずは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により犠牲になられた方々にご遺族の皆様には深くお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様方とその関係者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。今後の被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、各企業の業績低下は免れない状況に陥り、また、景気回復に向けて先行き不透明な状態で推移してまいりました。

このような環境のもとで、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は8,110百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は388百万円（前年同四半期比41.5%減）、経常利益は411百万円（前年同四半期比40.4%減）、四半期純利益は151百万円（前年同四半期比59.2%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

①移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、携帯電話の普及台数が11,953万台を超えましたが、ソフトバンクモバイル株式会社の積極的な営業展開のほか、スマートフォンを中心とする新機種の販売も順調に推移したことに伴い当第2四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は増加し、新規・機種変更を合わせ86,854台（前年同四半期比9.4%増）となりました。また、売上高は7,604百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は374百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

②コールセンター事業（保険分野）

コールセンター事業（保険分野）につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、平成20年7月に青森県青森市に東北支店を開設して、2拠点体制とし、営業効率を更に強化して販売力の向上を図ったほか、複数の保険会社の新商品の取扱を継続しております。この結果、前述の新商品の販売が順調に推移したため、当第2四半期連結累計期間における売上高は391百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は56百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

③不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で平成19年8月1日に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率の向上に努めております。当第2四半期連結累計期間における売上高は23百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は2百万円（前年同四半期比24.6%減）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社は平成21年9月に設立後、平成22年7月に葬儀会館「ティア西尾」を、平成22年11月に葬儀会館「ティア桑名」を、それぞれオープンしましたが、設備および人員の先行投資の影響から、当第2四半期連結累計期間における売上高は90百万円（前年同四半期はなし）、営業損失は45百万円（前年同四半期はなし）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して、現金及び預金が515百万円減少しましたが、売掛金が382百万円増加し、商品が472百万円増加したことなどにより、流動資産が338百万円増加し、4,392百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が321百万円増加したことなどにより、453百万円増加し、3,009百万円となりました。その結果、資産総額は791百万円増加し、7,402百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末と比較して、買掛金が373百万円増加し、短期借入金が521百万円増加したことなどにより、流動負債は696百万円増加し、3,576百万円となりました。一方、固定負債は、長期借入金が70百万円増加したものの、社債が90百万円減少したことなどにより、3百万円減少し、1,379百万円となりました。その結果、負債総額は693百万円増加し、4,955百万円となりました。

また、純資産については、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が42百万円増加し、評価・換算差額等が42百万円増加したことなどにより、98百万円増加し、2,446百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の業績予想につきましては、株式会社エスケーアイは東日本大震災による関東地区店舗の営業への支障の他、ユーザーの消費マインドの低下が懸念されるため、売上高および各利益への影響を勘案し、通期の個別業績予想の当初計画（平成22年11月9日付の決算短信で公表）に対しまして、売上高について450百万円、営業利益について107百万円、経常利益について100百万円、当期純利益について50百万円各々減少し、売上高を14,131百万円、営業利益を600百万円、経常利益を600百万円、当期純利益を290百万円に修正しております。

また、子会社である株式会社セントラルパートナーズは東日本大震災の発生を受け、各保険会社から当社の主力営業地域にあたる東北地方および関東地方への架電停止の通達があり、当該地域での営業活動が制約されている影響から、売上高について55百万円、営業利益について55百万円、経常利益について55百万円、当期純利益について7百万円各々減少し、売上高を788百万円、営業利益を98百万円、経常利益を125百万円、当期純利益を43百万円に修正しております。

なお、子会社であるエスケーアイマネージメント株式会社につきましては、当期中に葬儀会館2店舗の新規出店を計画していたため、新規出店に備えて正社員を採用しております。しかし乍ら、東日本大震災の影響により葬儀会館の着工を延期せざるを得ない状況に陥り、新規出店を来期の第1四半期まで延期する計画となり、営業の進捗の遅れのほか、人件費等のコスト増加による先行投資の影響から業績低下が懸念されるため、売上高について87百万円、営業利益について68百万円、経常利益について65百万円、当期純利益について66百万円各々減少し、売上高を200百万円、営業損失を96百万円、経常損失を99百万円、当期純損失を100百万円に修正しております。

この結果、通期連結業績予想の当初計画（平成22年11月9日付の決算短信で公表）に対しまして、売上高は590百万円減少の15,170百万円、営業利益は232百万円減少の606百万円、経常利益は221百万円減少の626百万円、当期純利益は123百万円減少の233百万円に修正しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ・会計処理基準に関する事項の変更
(資産除去債務に関する会計基準)

前連結会計年度末より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成20年3月31日 企業会計基準第18号）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成20年3月31日 企業会計基準適用指針第21号）を適用しております。

前第3四半期連結累計期間までは当該会計基準等を適用しておりませんでしたが、収益性の変化の速度に対応するため、今後の当社グループの各事業における店舗展開と、それに伴うコスト構造の見直しを行った結果、前連結会計年度末より適用したものであります。従って、前第2四半期連結累計期間は、当該会計基準等適用後の方法によった場合に比べて、営業利益および経常利益は1,602千円、税金等調整前四半期純利益は12,427千円それぞれ多く計上されております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,221,563	1,737,031
売掛金	1,834,214	1,451,602
商品	1,129,486	656,561
その他	207,537	209,041
流動資産合計	4,392,801	4,054,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,235,787	1,136,664
土地	918,763	644,421
その他（純額）	124,617	176,104
有形固定資産合計	2,279,168	1,957,190
無形固定資産	79,544	46,085
投資その他の資産	650,852	552,994
固定資産合計	3,009,566	2,556,269
資産合計	7,402,367	6,610,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,106,800	733,521
短期借入金	1,441,000	920,000
未払法人税等	195,406	214,028
短期解約違約金損失引当金	—	1,000
賞与引当金	70,611	73,460
役員賞与引当金	26,692	53,900
その他	735,629	883,564
流動負債合計	3,576,140	2,879,474
固定負債		
社債	430,000	520,000
長期借入金	634,620	564,114
退職給付引当金	59,026	55,569
役員退職慰労引当金	165,390	155,730
資産除去債務	55,704	51,485
その他	34,667	36,169
固定負債合計	1,379,408	1,383,067
負債合計	4,955,549	4,262,542

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	949,202	906,598
自己株式	△13	—
株主資本合計	2,345,415	2,302,825
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,300	8,867
評価・換算差額等合計	51,300	8,867
少数株主持分	50,102	36,272
純資産合計	2,446,818	2,347,965
負債純資産合計	7,402,367	6,610,507

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	7,905,473	8,110,226
売上原価	5,500,242	5,828,482
売上総利益	2,405,231	2,281,744
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	564,541	629,564
賞与引当金繰入額	76,548	70,611
役員賞与引当金繰入額	20,947	26,692
退職給付費用	9,286	7,530
役員退職慰労引当金繰入額	9,100	9,660
その他	1,060,612	1,149,327
販売費及び一般管理費合計	1,741,036	1,893,385
営業利益	664,194	388,358
営業外収益		
受取利息	338	134
受取配当金	279	2,279
補助金収入	33,354	29,335
その他	4,065	4,307
営業外収益合計	38,038	36,057
営業外費用		
支払利息	12,321	12,470
その他	457	776
営業外費用合計	12,778	13,247
経常利益	689,453	411,168
特別利益		
賞与引当金戻入額	10,180	9,399
保険差益	7,987	517
その他	3,642	574
特別利益合計	21,810	10,490
特別損失		
固定資産除却損	7,900	13,062
投資有価証券評価損	—	7,167
貸倒損失	3,012	—
和解金	—	8,339
その他	955	5,535
特別損失合計	11,869	34,105
税金等調整前四半期純利益	699,395	387,554
法人税、住民税及び事業税	294,563	202,311
法人税等調整額	15,370	20,243
法人税等合計	309,934	222,555
少数株主損益調整前四半期純利益	—	164,998
少数株主利益	18,867	13,830
四半期純利益	370,593	151,168

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	699,395	387,554
減価償却費	57,700	75,633
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20,023	△671
短期解約違約金損失引当金の増減額 (△は減少)	1,000	△1,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,674	△2,849
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,852	△27,207
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,777	3,457
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,800	9,660
受取利息及び受取配当金	△618	△2,413
支払利息	12,321	12,470
保険差益	△7,987	△517
固定資産除売却損益 (△は益)	6,591	13,062
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,167
会員権評価損	—	3,750
和解金	—	8,339
売上債権の増減額 (△は増加)	△384,025	△382,611
たな卸資産の増減額 (△は増加)	846,152	△471,132
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,955,689	373,279
未払金の増減額 (△は減少)	3,052	12,301
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,100	△128,684
その他	4,648	△2,059
小計	△772,531	△112,469
利息及び配当金の受取額	816	2,465
利息の支払額	△12,695	△13,255
保険金の受取額	11,198	891
法人税等の支払額	△386,886	△219,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,160,098	△341,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,779	△3,671
有形固定資産の取得による支出	△65,899	△434,125
有形固定資産の売却による収入	4,445	—
投資有価証券の取得による支出	△90,000	△70,618
差入保証金の差入による支出	△22,000	△982
差入保証金の回収による収入	4,916	1,163
預り保証金の受入による収入	201	163
無形固定資産の取得による支出	—	△37,800
その他	△6,224	△3,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,340	△549,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	928,000	521,000
長期借入れによる収入	150,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△133,672	△100,270
社債の償還による支出	△50,000	△90,000
配当金の支払額	△78,166	△108,565
その他	—	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	816,161	372,151
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△522,277	△519,140
現金及び現金同等物の期首残高	1,490,813	1,613,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	968,536	1,094,119

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

	移動体通信 機器販売 関連事業 (千円)	コール センター事業 (保険分野) (千円)	不動産賃貸・ 管理事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,526,271	355,624	23,577	7,905,473	—	7,905,473
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	6,768	6,768	(6,768)	—
計	7,526,271	355,624	30,345	7,912,241	(6,768)	7,905,473
営業利益	599,755	61,561	2,705	664,022	(△171)	664,194

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する事業の内容

事業区分	事業の内容
移動体通信機器 販売関連事業	一般ユーザーに対し、移動体通信キャリアが提供する移動体通信機器の販売および移動体通信サービスの加入契約取り次ぎを行う事業
コールセンター事業 (保険分野)	保険会社からの委託を受け、医療保険等第三分野の保険の募集を行う事業
不動産賃貸・管理事業	不動産物件(駐車場)の賃貸借募集を行うと同時に、その他一般消費者の利用を目的とする事業

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、経営組織の形態、商品・サービスの特性から、報告セグメントを「移動体通信機器販売関連事業」、「コールセンター事業（保険分野）」、「不動産賃貸・管理事業」および「葬祭事業」の4つとしております。

「移動体通信機器販売関連事業」は、一般ユーザーに対し、移動体通信キャリアが提供する移動体通信機器の販売および移動体通信サービスの加入契約取り次ぎを行う事業であります。

「コールセンター事業（保険分野）」は、保険会社からの委託を受け、医療保険等第三分野の保険の募集を行う事業であります。

「不動産賃貸・管理事業」は、不動産物件（駐車場）の賃貸借募集を行うと同時に、その他一般消費者の利用を目的とする事業であります。

「葬祭事業」は、一般顧客に対し、葬儀の施行全般を請け負うと同時に、葬儀終了後の忌明け法要や年忌法要を請け負う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売 関連事業	コール センター 事業 (保険分野)	不動産 賃貸・ 管理事業	葬祭事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,604,031	391,308	23,942	90,944	8,110,226	—	8,110,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	11,070	—	11,070	△11,070	—
計	7,604,031	391,308	35,012	90,944	8,121,296	△11,070	8,110,226
セグメント利益 又は損失（△）	374,419	56,421	2,039	△45,121	387,758	600	388,358

（注） 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

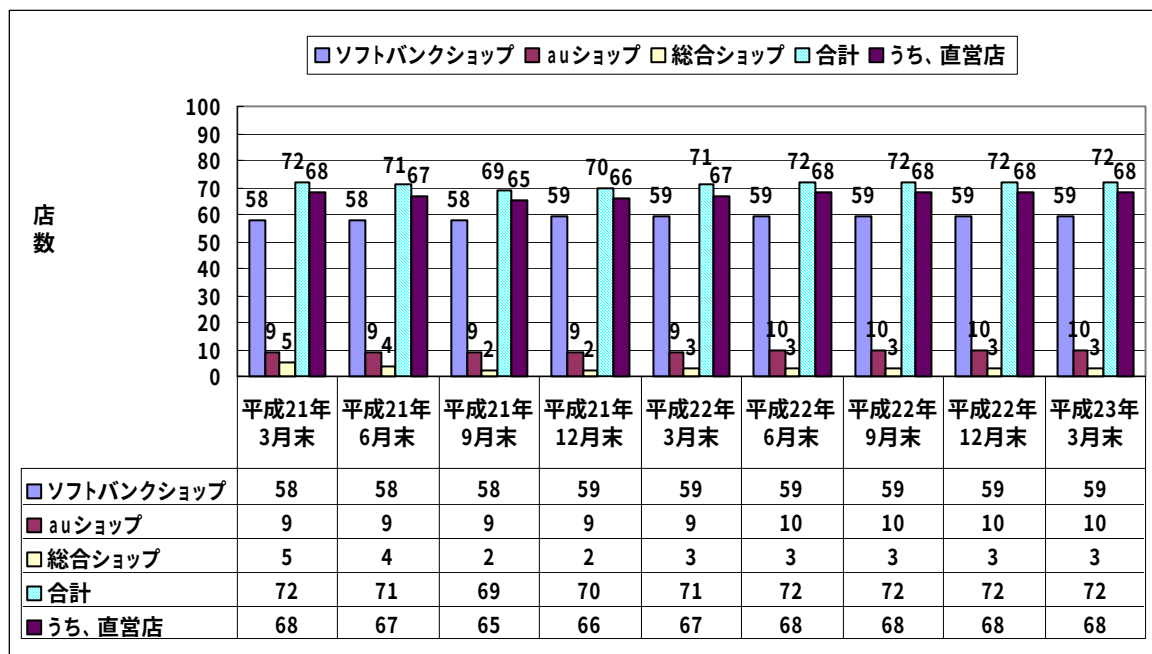
第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成21年3月27日 企業会計基準第17号）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成20年3月21日 企業会計基準適用指針第20号）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

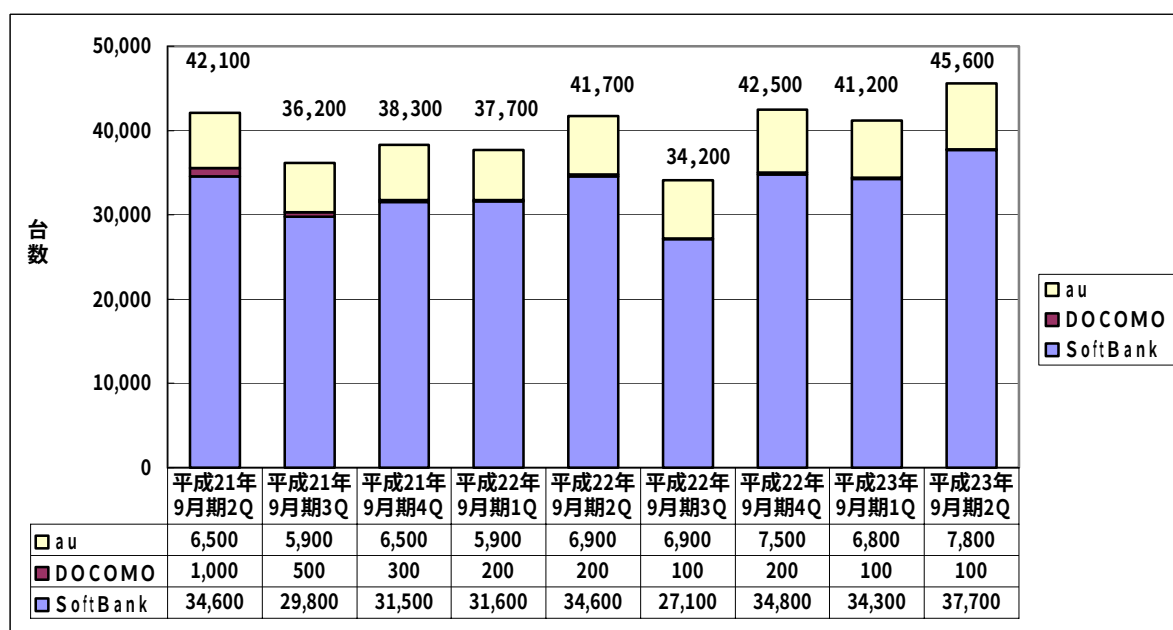
(参考資料)
四半期毎の店舗数推移

(単位：店)



四半期毎のキャリア別取扱台数

(単位：台)



なお、台数については百台未満を四捨五入しております。

上記取扱台数に占める新規販売台数の割合及び直営店による取扱比率

(単位：%)

	平成 21 年 9 月期 2Q	平成 21 年 9 月期 3Q	平成 21 年 9 月期 4Q	平成 22 年 9 月期 1Q	平成 22 年 9 月期 2Q	平成 22 年 9 月期 3Q	平成 22 年 9 月期 4Q	平成 23 年 9 月期 1Q	平成 23 年 9 月期 2Q
新規販売比率	29.3	31.6	33.8	41.2	46.4	43.4	38.6	40.7	45.5
直営店取扱比率	96.4	96.6	96.0	96.7	96.6	96.7	96.7	97.0	97.1